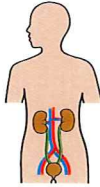




Q：ドラえもんの声で有名な大山のぶ代さんの夫で、俳優の砂川啓介さんが尿管がんで亡くなりました。

A：腎臓でつくられた尿は腎盂に集まり、尿管を通過して膀胱へ流れます。腎盂は腎臓の一部なのですが、腎盂と尿管の粘膜は移行上皮という同一の上皮で覆われており、共に組織学的には移行上皮がんが発生するため、腎盂・尿管がんを一つにまとめて扱います。比較的稀な疾患で、がん死亡全体に占める割合は1%以下です。男女比は2：4：1で、高齢になるほど発生頻度は高く50～70歳台が好発年齢です。腎盂・尿管がんは、

尿路内に多発しやすいのが特徴です。原因として尿中発がん物質との接触が指摘されており、鎮痛剤の長期服用、抗がん剤、染料・塗料などが危険因子です。また喫煙者は発がんのリスクが高いと言われています。最も多い症状は、肉眼的な血尿です。尿管が血塊でつまったり、がんが周囲に広がると、腰背部痛や側腹部痛を起すことがあります。



す。がんで尿管が閉塞すると、水腎症と呼ばれる腎臓の中に尿がたまった状態となり、それが長く続くと腎臓が機能しなくなってしまう。

(岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニシコー北口駅前ビル2F)

☎055・2888・1801